

# 先進地に学ぶ

## 保育園指定管理者制度(東郷町)

## 小中一貫教育(飛島村)

議会では、2委員会合同で、昨年11月8日、二つの先進自治体を視察しました。福祉建設委員会は、東郷町の保育園民営化。総務文教委員会は、学校教育の先駆的な改革を遂行した飛島村飛島学園です。

### 東郷町

#### 「西部保育園指定管理者制度」

##### 当初から、民間委託(指定管理者制度)を目的に建設された保育園

- ①民間のノウハウを取り入れた質の高い保育サービスが提供されている。
- ②公費が削減された。職員数削減と若返りなどで、20%の減である。
- ③父母等からは、土日延長・異年齢保育などが好評である。



##### 民間のノウハウが発揮されている

- ①クラスは、異年齢で構成。年少児、年中児、年長児が同じ部屋で保育を受けている。異年齢保育が定着して、とても和やかであった。
- ②進級は持ちあがり。クラスの友達や担任はそのまま進級する。
- ③日常を大切に、運動会や発表会など特別なことはしていない。
- ④園内に、子育て支援センターがあり、利用者の和気あいあいが清々しかった。

### 飛島村

#### 「飛島学園小中一貫教育」

##### 6・3制から小中一貫へ移行(平成18年)

- ①小学校と中学校が1校しかなく、各学年の多くが1学級である。この現状を利点として捉え、「飛島村教育特区」を取り入れた。



##### いじめ、不登校は

- ①もともと、いじめ、不登校は無かったし、現在も無い。
- ②たとえば中学生が小学生の面倒をみるのが自然になっていて、それゆえ、小学生が上級生に対して、あこがれや尊敬の念を抱くようになっている。

##### 小中一貫教育の長所は

- ①思いやりの心が育った。中1ギャップがなく、スムーズに移行ができている。気持ちの切り替えがない分、新鮮さがないが。

##### 短所は

- ①中学と小学の授業時間や終業時間が異なるために、職員会議等、会議時間の調整が難しい。

教室は間仕切りだけで、オープン。校舎は木造で、風光が巧みに採り入れられている。全学年が一緒に給食を食べることができる広いホール、その他全てにおいて、ハード面は完備している。